

一般社団法人日本内視鏡外科学会

2016 年度（自 2015 年 10 月 1 日 至 2016 年 9 月 30 日）第 3 回理事会議事録

会員各位

日本内視鏡外科学会

- ☐開催日時 2016 年 12 月 7 日（水） 16：00～18：00
- ☐開催場所 ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル 1F パール（第 19 会場）
- ☐理事総数 20 名
- ☐監事総数 4 名
- ☐出席理事数 19 名
- ☐出席監事数 2 名
- ☐出席理事の氏名
渡邊昌彦（理事長）、明楽重夫、猪股雅史、岩崎昭憲、岩中 督、小澤壯治、北川雄光、
黒川良望、坂井義治、塩田 充、出沢 明、寺地敏郎、徳村弘実、橋爪 誠、松田公志、
森 俊幸、森川利昭、若林 剛、渡邊聡明
- ☐出席監事の氏名
松本純夫、山下裕一
- ☐出席名誉理事長の氏名
北島政樹、北野正剛
- ☐議長の氏名
渡邊昌彦
- ☐決議事項に特別の利害関係を有する理事の氏名
該当する理事はいない
- ☐議事の経過の要領及びその結果
以下の通りである。

＊

定刻に至り、定款第 41 条に基づき渡邊昌彦理事長が議長席につき、開会を宣し、本日の理事会の開催及び議決に必要な定款上の定足数を確保し、本理事会が適法に成立した旨を告げ、議事が開始された。

1. 前回の理事会議事録が確認された。
2. 報告事項
 - 1) 編集委員会報告
 - (1) 日本内視鏡外科学会雑誌（渡邊昌彦編集主幹）
 - ・投稿状況が報告された。

- ・採用率が30%を切っており、3割以下の場合、投稿件数が減るという現象があるため、注視する必要がある旨述べられた。

(2) Asian Journal of Endoscopic Surgery (北野正剛編集主幹)

- ・2016年の投稿数は160本程となり、2014年を上回る見込みであるが、Original article と review article を増やす必要があることが述べられた。
- ・採択率は前年と同様に2016年も40%台の見込みであり、質の向上のため、同採択率程度が望ましいとする旨報告された。併せて、国別の投稿では、アジア地区にもっと働きかけなければいけないことが述べられた。
- ・2016年7月にASESがESCIに収載され、web of science 上で検索可能となったことが報告され、併せて、2017年6月にインパクトファクター獲得のための審査が始まる旨説明された。

2) 総務委員会報告 (若林剛委員長)

- ・庶務報告 会員数13,321名(2016年11月20日現在)
- ・未納退会者が437名になることが報告された。
- ・物故者、2016年度の特別会員推薦者が報告された。
- ・報告資料の表記について、「未納退会」については会費滞納による「資格喪失」に統一する旨確認がなされた。

3) 教育委員会報告 (黒川良望委員長)

- ・第21回教育セミナーの開催について報告された。
- ・内視鏡下縫合・結紮手技講習会について2016年までに計161回(3,800名受講)の講習会を開催したことが報告された。
- ・公認研究会として、9月理事会以降、新たに「腹腔鏡下胆道手術研究会」が追加された旨報告された。
- ・前回9月理事会にて公認研究会として報告された「眼科内視鏡研究会」について、継続して確認を進めており、約90名が在籍する研究会であることから承認する予定である旨説明がなされた。
- ・後援講習会について、2016年度認定数が112件となったことが報告された。
- ・用語集改訂委員会：日本医学会のフォーマットに合わせ、用語集ウェブ版がHPへ掲載されたことが報告された。

4) 学術委員会報告 (猪股雅史委員長)

- ・第13回アンケート結果について報告された。併せてASESへ第12回アンケート結果を投稿中、第13回も投稿予定であることが述べられた。
- ・2013年度申請のNCDデータを利用した消化器外科領域新規研究課題「腹腔鏡下胃切除術の安全性に関する検討 NCDによる前向き調査研究」の論文文化が終了し、間もなく投稿予定であること、本切除術の追加解析も進めていることが報告された。
- ・2014年度 NCD データを利用した消化器外科領域新規研究課題「日本内視鏡外科学会技術認定制度における技術認定レベルのアウトカム評価」についても進められていることが報告された。
- ・2015年度 NCD 研究「高齢者に対する腹腔鏡下手術の意義」については、論文文化に向け、現

在 NCD 側と調整していることが報告された.

- ・ NCD 特定術式データ品質管理協議会については, JSES の代表として猪股委員長が出席しており, 主に腹腔鏡の肝切除と臍頭十二指腸切除術は NCD に登録して進めることとし, それぞれの研究会と連携しながら行っていることが説明された.
- ・ 消化器外科データベース関連学会協議会は NCD のデータに関するもので順調に進んでいることが報告された.

5) ロボット支援手術検討委員会報告 (橋爪誠担当理事)

- ・ 保険委員会と合同委員会を開催し, このたびの外保連でのロボット支援手術の登録は JSES では食道(瀬戸泰之先生)と直腸(渡邊聡明先生)を担当すること, 胃は胃癌学会が担当することとなった旨が報告された.
- ・ ロボット支援手術について, 肝臓領域における症例登録と同様に登録をさせるなどしてコントロールする必要性が示唆され, 今後, ロボット支援手術検討委員会, 学術委員会, 保険委員会にて検討していくことが説明された.

6) 規約委員会報告 (徳村弘実委員長)

- ・ 理事会の審議事項として理事定員数の変更を挙げている旨報告がなされた. 渡邊昌彦理事長より, 翌日の社員総会での決議とし, 理事の交代と新理事については後程報告する旨が述べられた.

7) 将来構想委員会報告 (寺地敏郎委員長)

- ・ 報告事項なし

8) 評議員選考委員会報告 (塩田充委員長)

- ・ 評議員の資格喪失者数について, 再確認の上, 実際は 43 名が対象となり, 資格失効の通知が送付された点が報告された.

9) 広報委員会報告 (出沢明委員長)

- ・ NewsLetter 24 号の発行が報告された.
- ・ HP トップページ写真更新, お知らせ, 一斉配信メールについて報告がなされ, 渡邊昌彦理事長より, 各学会のリンク掲載について, 希望があれば広報委員会まで連絡いただくよう述べられた.

10) ガイドライン委員会報告 (渡邊聡明委員長)

- ・ 松田公志副委員長の退任, 新任として吉田雅博特任顧問が就任された旨報告された.
- ・ ASES へは胆道領域の英語版が掲載され, 2014 年改訂版の掲載対象領域が全て掲載完了となったことが報告された.

11) 第三者評価委員会報告 (岩中督委員長)

- ・ 報告事項なし

12) 倫理・渉外委員会報告（明楽重夫委員長）

- ・報告事項なし

13) COI 委員会報告（森川利昭委員長）

- ・前回 9 月理事会にて議論されたスポンサードセッションでの COI の取り扱いについて、日本医学会へ確認の上、通常の発表のように提示すれば問題ない旨説明がなされた。併せて、発表している施設が COI に関与している場合は、資金援助を全く受けていなければ開示の必要はないことが述べられた。

14) 医工学連携委員会報告（森川利昭委員長）

- ・委員会メンバーの入れ替えを行ったこと、小委員会制度の構成を取り、メールを主とした活動に変更したことが報告された。
- ・本年の医工学連携企画について報告された。
- ・2017 年度は医工学連携企画も 3 年目に入り、落ち着いてきたため、森川利昭委員長を主体として委員会から独立した形で進めていく旨説明がなされた。

15) 技術認定制度委員会報告（松田公志委員長）

- ・各領域の技術認定申請や審査員の再任・退任・新任について承認したことが報告された。
- ・消化器・一般外科領域および小児外科領域について、班長のもとである程度柔軟な運用をすることとなるが、65 歳定年制を設けることが承認された。65 歳以上の審査委員については、新たに「顧問審査委員」という審査には携わらないが会議に参加することができる役を設けることとなり、規則の改定を進めることとなった。

16) メディカル・チーム検討委員会報告（岩崎昭憲委員長）

- ・新委員（石田稔委員、渡邊祐介委員）就任の報告がなされた。
- ・メディカルスタッフマニュアルについて、現在分担で執筆を依頼しており、2017 年度中には改訂版を発行予定である旨報告された。

17) 保険委員会報告（森俊幸委員長）

- ・ロボット支援手術検討委員会と合同委員会を行い、食道・直腸は JSES で担当し、外保連試案申請を進めていることが報告された。
- ・平成 30 年度の診療報酬改訂要望事項に関し、評議員より要望を募り外保連への申請が完了した点が報告された。

18) 国際委員会報告（坂井義治委員長）

- ・EAES のブロックメンバーシップ制度について、70 名を超える申込があった旨報告された。併せて、EAES 既存会員で 2017 年分の年会費を納入済みの会員の措置について、国際委員会で検討する旨述べられた。
- ・北野正剛名誉理事長より、IFSES について、猪股雅史大会誘致委員長のプレゼンにより 2020 年の大会が日本での開催に決定した旨報告された。併せて、2016 年 11 月を以て北野正剛名誉理事長が IFSES 理事長を退任し、後任に米国の Barry Salky 氏が就任したことが報告された。

19) 専門医制度検討委員会報告（北川雄光委員長）

- ・新専門医制度の開始が延期され、状況が変わってきたことが報告された。新専門医制度のもと、技術認定制度をどのように位置づけていくかについて早めに方針を打ち出せるよう、今後議論していくこととなった。なお、理事長が就任する特別委員について、北野正剛名誉理事長より渡邊昌彦理事長に交代となることが確認された。

20) 大上賞選考委員会報告（渡邊昌彦委員長）

- ・受賞者が河野匡氏（虎の門病院呼吸器センター外科）となった旨報告された。

21) 出月賞選考委員会報告（森俊幸委員長）

- ・受賞者が須藤隆之氏（盛岡市立病院外科）となった旨報告された。

22) 第 29 回総会 状況報告（渡邊昌彦会長）

- ・第 29 回総会の状況が報告された。
- ・カールストルツ賞受賞者が報告された。
 - ▷秋吉 高志 氏（がん研有明病院消化器センター大腸外科）
 - ▷永川 裕一 氏（東京医科大学消化器・小児外科学分野）

23) 第 30 回総会 準備報告（坂井義治次期会長）

- ・総会への協力について感謝の意を述べられ、テーマを「心技一体 30 年の想いを新たなる 30 年へ」としたことが報告された。

24) 第 31 回総会 準備報告（岩崎昭憲次々期会長）

- ・福岡での開催、仮テーマは「The Next Step Forward」であることが報告された。

25) 第 32 回総会 準備報告（小澤壯治次々々期会長）

- ・翌日の社員総会にて決議となり、横浜地区での開催を予定していることが報告された。

26) 日本医学医会、その他報告（渡邊昌彦理事長）

- ・日本医学会分科会における研究倫理教育の周知、研修会開催について報告された。
- ・寺地敏郎理事より、日本医学会分科会用語委員会にて術式名と K コードの統一について検討されている旨報告された。
- ・山下裕一監事、北野正剛名誉理事長より、理事長の任期、年齢制限の延長の点について意見が述べられ、継続して審議する旨確認された。
- ・ロシア内視鏡外科学会からの JSES と連携を深めていきたいとの要望より、覚書を締結する旨が承認された。

3. 審議事項

1) 財務委員会審議（小澤壯治委員長）

- ・2016 年度決算報告の詳細が説明され承認された。
- ・源泉徴収の取り扱いについて、謝金を伴う旅費は源泉徴収の対象となること、左記の見直し

により、内視鏡下縫合・結紮手技講習会のコースコーディネーターおよびインストラクター、教育セミナー司会・講師へは旅費・謝金共に源泉対象となる旨、顧問税理士より説明がなされた。

上記について、源泉の対象は従来通り謝金のみとするが、講習会および教育セミナーの旅費については実費での精算とすることが確認された。

- ・第28回総会の寄附金について、手続きを進めていることが報告された。
- ・収益事業と非収益事業の振り分けについて、財務委員会にて再度見直すよう意見が出された。

2) 役員選任及び交代の件（渡邊昌彦理事長）

- ・役員選任及び交代について、以下の通り理事、監事の交代が承認された。

▷理事退任

- ・黒川良望理事
- ・出沢 明理事
- ・寺地敏郎理事
- ・松田公志理事

▷理事新任

- ・大須賀穰理事
- ・笠間和典理事
- ・金山博臣理事
- ・中村博亮理事
- ・中村雅史理事
- ・羽瀨友則理事
- ・藤澤正人理事
- ・山口茂樹理事
- ・山高篤行理事

▷監事退任

- ・松本純夫監事
- ・馬場志郎監事

▷監事新任

- ・黒川良望監事
- ・松田公志監事

- ・委員会の編成については、継続して検討を進め、後日メール審議または臨時の理事会を開催し決定する旨説明された。

3) その他

- ・社員総会の入退場システムについて（事務局）

来年の社員総会からの導入に向け、改めて提案することが報告され、まずは評議員を対象とする点が説明された。

以上

2016 年度技術認定申請者一覧（泌尿器科領域）【新規】

飯塚 淳平（東京女子医科大学）	柴崎 智宏（山形大学医学部附属病院）
大迫 洋一（鹿児島市立病院）	西村 直樹（JCHO 諫早総合病院）
加藤 春雄（国立病院機構渋川医療センター）	真鍋 由美（八幡中央病院）
佐藤 元孝（市立豊中病院）	水野 秀紀（国立病院機構名古屋医療センター）
佐野 太（横須賀共済病院）	

2016 年度技術認定申請者一覧（泌尿器科領域）【更新】

井口 太郎（大阪市立大学大学院）	鶴 信雄（すずかけセントラル病院）
内田 潤次（大阪市立大学大学院）	西村 健作（独立行政法人国立病院機構大阪医療センター）
奥野 博（独立行政法人国立病院機構京都医療センター）	林 泰司（近畿大学医学部堺病院）
角西 雄一（JA 尾道総合病院）	

2016 年度技術認定申請者一覧（産科婦人科領域）【新規】

卜部 諭（草津総合病院）	南川 高廣（長岡赤十字病院）
加藤 宵子（大和市立病院）	本橋 卓（市立四日市病院）
小玉 敬亮（九州大学病院）	山口 貴史（セントマザー産婦人科医院）
端本 裕子（大和市立病院）	

2016 年度技術認定申請者一覧（産科婦人科領域）【更新】

明石 祐史（札幌白石産科婦人科病院）	寺井 義人（大阪医科大学）
秋葉 靖雄（済生会横浜市東部病院）	土岐 利彦（彦根市立病院）
楠本 知行（岡山大学病院）	中村 嘉宏（なかむらレディースクリニック）
甲賀かをり（東京大学医学部附属病院）	増澤 秀幸（ひろおかさくらレディースウイメンズクリニック）
妹尾 大作（松山赤十字病院）	山下 剛（市立函館病院）

2016 年度技術認定申請者一覧（整形外科領域）【新規】

中道 清広（慶友整形外科病院）

一般社団法人日本内視鏡外科学会

2016 年度（自 2015 年 10 月 1 日 至 2016 年 9 月 30 日）第 1 回社員総会議事録

会員各位

日本内視鏡外科学会

- ☐開催日時 2016 年 12 月 8 日（木）18：00～19：00
- ☐開催場所 パシフィコ横浜 会議センター 1F「メインホール」（第 1 会場）
- ☐社員総数 879 名
- ☐出席社員数（委任状による出席も含む）672 名
- ☐理事総数 20 名
- ☐監事総数 4 名
- ☐出席理事数 19 名
- ☐出席監事数 3 名
- ☐出席理事の氏名
渡邊昌彦，明楽重夫，猪股雅史，岩崎昭憲，岩中 督，小澤壯治，北川雄光，黒川良望，
坂井義治，塩田 充，出沢 明，寺地敏郎，徳村弘実，橋爪 誠，松田公志，森 俊幸，
森川利昭，若林 剛，渡邊聡明
- ☐出席監事の氏名
馬場志郎，松本純夫 山下裕一
- ☐出席名誉理事長の氏名
北島政樹
- ☐議長の氏名
渡邊昌彦
- ☐議事の経過の要領及びその結果
以下の通りである。

＊

定刻に至り，定款第 17 条に基づき，渡邊昌彦理事長が議長席につき総会の開催を宣した。
議長は，本総会の開催及び決議に必要な定款上の定足数を確保していることが確認され，本総
会が適法に成立した旨を告げた。
議事に先立ち 2016 年度の物故者の先生方に対し黙祷がなされた。続いて，議長は議事に入った。

議事の経過の要領及びその結果については，前日に行われた理事会における報告事項及び審議
事項における内容が変更・修正なく承認されたので，理事会議事録において各々対応する事項の
記載をもって，省略する。

議事の最後に、以下の名誉理事長・名誉会長・名誉会員・特別会員の推戴状授与式が行われた。

<名誉理事長>

北野 正剛

<名誉会長>

星合 昊

森川 康英

<名誉会員>

大貫 恭正

堤 治

<特別会員>

清水 輝久

田中 雅夫

内藤 誠二

続いて、出月賞・大上賞の授賞式が行われた。

<出月賞>

須藤 隆之（盛岡市立病院外科）

<大上賞>

河野 匡（虎の門病院呼吸器センター外科）

以上、社員総会の議事の経過並びに結果が正確であることを証するために、議事録を作成し議長がこれに記名押印する。

（以下略）

以上